

Phish Alertボタン

Phish Alertボタン(PAB)を使用すると、不審なメールを通報でき、組織全体で従業員を保護する仕組みを強化できます。以下の情報を参照して、PABを使用するタイミング、スパムメールとフィッシングメールの見分け方、不審なメールを通報する方法を確認してください。

PABを使用するタイミング

受信したメールがフィッシングかな?と思ったら、Phish Alertボタン(PAB)を使用しましょう。悪意があると思われるメールを通報する場合に、PABを使用できます。

PABを使用する理由

メールを通報することで、自分と自分の組織の両方が、より安全な状態を維持できるようになります。メールを通報することで、脅威となるメールが受信箱から削除され、組織は脆弱性が存在している可能性を把握できます。組織がこれらの脆弱性が存在している可能性を認識できれば、それらの脆弱性への対策を講ずることができ、防御を強化できます。従業員一人一人が、サイバー犯罪者から組織を守るための重要な役割を担っています。

通報する対象

どのようなメールを通報するかを理解するには、スパムメールと悪意のあるフィッシングメールの違いを見分ける必要があります。スパムメールは通報しないでください。スパムを通報してしまうと、ITチームが悪意のあるフィッシングメールを迅速に識別できなくなる恐れがあります。

スパムメールとフィッシングメールの違いについては、以下の表を参考にしてください。

フィッシングメール	スパムメール
フィッシングメールは、サイバー犯罪者から送信され、ユーザーにリンクをクリックさせたり、個人情報や機密情報を提供したりするように仕向けられます。	スパムメールは通常、商品やサービスを売り込もうとする企業から送られてきます。
急いで返信させようとしています(「今すぐ対応してください!」など)。	スパムメールや不要な「ジャンク」メール
ユーザー名、パスワード、クレジットカードの詳細などの機密情報を要求します。	商品の宣伝のために送られてくるメール
ユーザー個人やユーザーの組織を標的にし、詳細にパーソナライズされている場合があります。	転送されたチェーンレター、クーポン、寄付の依頼、不要なニュースレターなどのメール

通報の方法

フィッシングメールとスパムメールの違いを確認できたら、以下の方法で、PABを使用して不審なメールを通報します。

1. メールを開いて、[PAB]アイコンをクリックします。
2. 受信トレイからメールを通報するかどうかの確認を求められたら、[はい]をクリックして、通報します。
3. メールが正しく通報されたことを伝えるメッセージが表示されます。

まとめ

クリックする前には、「手を止めて、見直し、よく考える」ことを忘れないでください。